

2020年11月17日
株式会社 電通グループ
代表取締役社長執行役員 山本 敏博
(東証第1部 証券コード:4324)

電通グループ、ESG 投資指標「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に 5年連続で選定

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746億981万円）は、世界的な ESG 投資指標である「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI)」^{※1}のアジア・パシフィック版「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス (DJSI Asia Pacific)」を構成する銘柄に2016年から5年連続で選定（昨年までは前身の㈱電通として）されました。

DJSI は、1999年に世界の金融市場指数を提供する米国の S&P Dow Jones Indices 社と、社会的責任投資に関する調査・格付けを行なうスイスの RobecoSAM 社が共同で開発した株式指標です。環境・社会・ガバナンス (ESG) の側面から企業の持続可能性 (サステナビリティ) を測定し、時価総額を加味した上で総合的に優れた企業の銘柄を年1回選定しており、今回で20回目となります。今年度の DJSI Asia Pacific には、主要企業611社の中から、158社（うち日本企業82社、日本のメディア・エンターテインメント企業は当社を含む2社）が選定されました。

現在、電通グループは、DJSI Asia Pacific に加え、FTSE4Good や FTSE Blossom Japan の構成銘柄にも選定されています。今後も当社グループは、多様なコミュニケーション活動を通して、人へ、社会へ、新しい価値をもたらす役割を担うとともにサステナブルな社会の実現と持続的な企業価値の向上に努めてまいります。^{※2}

※1 DJSI の詳細は、S&P Global 社の下記ウェブサイト（英語のみ）をご参照ください。

<https://www.spglobal.com/esg/csa/indices/djsi-index-family>

※2 電通グループのサステナビリティに関する取り組みはこちらをご参照ください。

<https://www.group.dentsu.com/jp/sustainability/>

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

(ご参考) 電通グループのサステナビリティ関連の外部評価

電通グループは、2016年から5年連続で「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI)」のアジア・パシフィック版「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス (DJSI Asia Pacific)」を構成する銘柄に選定されています。またCDP (2019年:A-)、ecovadis などでも高い評価を得ており、FTSE4Goodなどのインデックスにも組み入れられています。

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス

TEL : 03-6217-6601 Email : group-cc@dentsu-group.com

株式会社電通グループでは、新型コロナウイルス対策の一環として、現在リモートワークを実施しておりますので、同期間のお問い合わせは、Eメールにてお願いいたします。